






施策マネジメントシート(2021年度の振り返り、総括)

作成日 2022 年 7 月 1 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	地域整備課	
				課長	林 昇	
施策	9	道路の安全性と利便性の確保	関係課			   

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図	
						1
町内の道路利用者	安全に道路を利用できる。	基本事業	2	道路の安全性の確保	①町内の道路利用者 ②道路施設	安全に利用できる。
			3	冬期間の道路網の確保	町内の道路利用者	冬期間において道路を安全に利用できる。
			4			

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 道路の補修や橋梁の長寿命化を計画的に実施し、併せて道路愛護作業等による道路の適正な維持管理に努めます。 道路施設の健全化を図るとともに、都市計画道路未整備区間を早期開通させ、道路の利便性の向上を図ります。 迅速な除排雪や消融雪施設の適正な維持管理を行うとともに、住民自らが行う除排雪作業を推進し、冬の円滑な交通の確保に努め、事故や通行止めの発生を抑制します。
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	町内の道路に不便を感じている町民の割合/道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合	%	実績値	50.3/63.5	53.7/56.3	53.4/56.3
B	道路改良率/都市計画道路改良率	%	実績値	37.4/32.0	37.6/34.8	37.7/37.4	37.7/37.4	45.5/37.4	45.6/74.8	
			目標値		37.6/34.8	37.6/37.4	37.7/37.4	37.7/37.4	37.8/37.4	37.8/42.0
C	道路に関する情報・苦情件数(夏期/冬期)	件	実績値	130/219	30/101	26/59	113/29	203/234	30/139	
			目標値		130/195	125/190	120/185	115/180	110/175	105/170
D	冬期間における交通事故発生件数	件	実績値	275	257	228	191	164	222	
			目標値		250	240	230	220	210	200
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方	<p>A) 直接的な設問であり、数値が低くなれば、目的が達成できていると考えられるため、成果指標とした。</p> <p>町民アンケート(翌年度実施分)により把握</p> <p>※町内の道路に不便を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合</p> <p>※道路の除排雪・消融雪に不満を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合</p> <p>B) 数値が高くなることにより、道路利用者が安全で円滑に移動できるようになると考えられるため成果指標とした。</p> <p>※道路改良率:道路台帳道路総括表より実数を把握 都市計画道路改良率:主管課で把握</p> <p>C/D) 道路に関する情報・苦情件数及び交通事故発生件数については、殆どが冬場の積雪・凍結関係であることから、件数が減少することは道路の安全性・利便性の向上に繋がると考え成果指標とした。(夏期は4月～11月、冬期は12月～3月とする)</p>
----------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 町内の道路に不便を感じている町民の割合については、毎年、計画的に地域の主要路線の改良を進めていること、また都市計画道路の未開通区間の一部が整備されることにより、若干の向上は見込まれるが、地域による道路愛護作業において、従事する町民の高齢化、人口減等により、日常的な維持管理が十分でなくなる事が想定されるため。</p> <p>B) 道路改良率、都市計画道路改良率については、後閑路線の予定区間が完了する予定であること、都市計画道路の未着手区間の一部(悪戸矢瀬線)の開通が見込まれる事から若干向上が見込まれる。</p> <p>C) 道路に関する情報・苦情件数については、町道の舗装が経年劣化により全体的に傷んできていることから、成り行きでは件数は増加すると思われるが、補修・維持管理(事業化・直管等)を適正に実施することにより、目標値を設定する。また、冬期間の情報・苦情件数については、前記と同じく、地域人口の減少・高齢化等により除雪に対する要望が増加することが想定されるが、除雪機械の整備・更新を適正に行い、またオペレーターの確保に努めると共に、地域除雪の協力体制を拡充することにより、目標値を設定する。</p> <p>D) 冬期間の事故発生件数については、冬期間の交通の安全確保に努めるとともに、町ホームページにリンクしている気象情報ライブカメラ、除雪車両マップ等の情報を、今後より多くの方に利用してもらうことにより、道路状況に応じた運転を心がけてもらうことにより件数は減少すると見込んでいる。</p>
-----------	---

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路整備に対して用地の提供や地域の合意形成に努める。 地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。 道路の危険箇所などを通報するとともに、雪道では特性を理解した運転に心がける。 地域ぐるみで除雪体制を考え、地域除雪に協力する。 <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的に道路の整備を行う。 道路・橋梁等の道路施設の適切な維持管理を行うとともに、ホームページを活用した情報提供を行う。 道路愛護活動のための支援を行う。 降雪状況を把握して安全で迅速な作業(除雪、消融雪、凍結防止剤散布)を実施する。 除雪作業に必要な協力の呼びかけ(PR、広報)を行う。
---------------	--

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進むことで、これまで道路等の維持管理及び除雪に従事していた人も少なくなり、維持管理が困難になることが予想される。 道路施設の点検・整備・補修については、半永久的に継続される事業であることから、計画的な事業を進めるための事業費の確保が必要となる。 都市計画道路の開通により、道路利用者が分散され、渋滞緩和・移動時間の短縮が図られる。 除雪車両については、交付金を活用し計画的に更新を進めていくが、更新に膨大な費用を要することが見込まれる。 <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民の半数以上が町内の道路に不満・不便を感じているため、住民の期待に十分応えているとはいえない。特に、「道幅が狭い」、「道路が暗い」、「除雪状況が悪い」との意見が多く寄せられている。 都市計画道路真政悪戸線歩道橋開通により、利便性の向上が図れたが、残り区間、悪戸矢線及び真政工区(老人センター～17号バイパス)の早期完成が望まれている。 地域除雪の取り組みについての必要性。
-----------	---

施策	9	道路の安全性と利便性の確保	主管課	名称	地域整備課
				課長	林 昇

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①町内の道路に不便を感じている割合は令和元年度50.2%、令和2年度48.7%、令和3年度53.0%と前年度に比べ4.3ポイント増加した。また、道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合は、令和元年度50.4%、令和2年度51.3%、令和3年度52.2%と昨年度に比べ0.9ポイント減少した。 ②道路改良率は、令和元年度37.7%、令和2年度45.5%、令和3年度45.6%であった。また、都市計画道路改良率は、令和元年度37.4%、令和2年度37.4%、令和3年度74.8%であった。都市計画道路については、4路線の廃止と悪戸矢瀬線の完成に起因する。 ③道路に関する情報・苦情件数のうち夏期は、令和元年度113件、令和2年度203件、令和3年度30件であり、冬期は、令和元年度29件、令和2年度234件、令和3年度139件であった。令和2年度の夏期については9月の豪雨の影響による。令和2年度の冬期は12月の豪雪の影響による。 ④冬期間における交通事故発生件数は、令和元年度191件、令和2年度164件、令和3年度222件であった。
② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	町の道路改良率は45.6%であり、令和3年県内市町村における道路改良率の平均50.4%を4.8ポイント下回っている。なお、道路改良率は道路延長が短く人口が集中している都市部で高い傾向にある。また、近隣市町村との改良率と総延長の比較では、みなかみ町の改良率が45.6%（実延長1,102.8km）であるのに対し、沼田市50.4%（1,394.3km）、片品村40.8%（381.1km）、川場村60.9%（166.8km）、昭和村44.9%（528.4km）となっている。	
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①町民アンケートによる「町内の道路で不便を感じている町民の割合」は、53.0%となり、目標の44.0%を下回った。また、「道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合」は52.2%であり、目標の52.0%とほぼ同率であった。 ②道路改良率は、45.6%であり、また、都市計画道路改良率は74.8%となり、目標を大きく上回った。 ③道路に関する苦情件数は、夏期30件・冬期139件であり、目標値夏期110件より少なく、また、目標値冬期175件との比較においても少なく、目標を上回った。 ④冬期間における交通事故発生件数は、222件で目標値210件より多かったため、目標を下回った。	

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1 道路整備の推進・促進	A 町内特定区間の距離及び所要時間(月夜野IC～保健福祉センター～上毛高原駅～水上IC)	km/分	実績値	実績なし	12.6/20	12.6/20
	B		目標値		12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.0/15
2 道路の安全性の確保	A 道路施設(橋梁)点検済み率/補修済み箇所数	%/箇所	実績値	25/12	83/15	100/17	28/19	46/22	71/23	
	B		目標値		80/15	100/17	20/20	40/23	60/26	80/30
3 冬期間の道路網の確保	A 冬期間の通行止め件数	件	実績値	0	0	0	0	1	1	
	B		目標値		0	0	0	0	0	0
4	A		実績値							
	B		目標値							

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 道路整備の推進・促進	各種重要路線の道路改良事業について、早急に整備を進める。	①国道17号を接続する、上津月夜野線(旧関口大原線)並びに上津132号線の改良工事を継続して実施する。 ②後閑1号幹線の道路改良事業を継続して実施する。 ③旧真政線関連の踏切撤去事業を実施する。
2 道路の安全性の確保	①道路の狭あい部分を解消する。 ②橋梁等の道路構造物の安全性を確保する。 ③公開型GISの更なる利用促進を図る。	①月夜野71号線の狭あい部分を解消する拡幅工事を実施する。 ②橋梁長寿命化計画を更新策定すると共に、法令点検を実施し、その結果に基づき必要となった補修工事を実施する。 ③トンネル並びにスノーシェッド等の長寿命化計画を策定し、計画的に点検及び補修工事を実施する。 ④道路台帳図等を毎年更新し、関連した情報で公表可能なものを随時公開していく。
3 冬期間の道路網の確保	①古い消融雪施設の維持管理。 ②直営路線の除雪体制の維持。	①消融雪施設の計画的な更新。 ②除雪車輛の運転手の確保と育成。 ③個人委託・地域支援による除雪作業の拡充。
4		

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000013	パークアンドライド管理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	42,980 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	月夜野情報ターミナル駐車場を維持管理するための委託業務				事業実績		
	基本事業	02	道路の安全性の確保					駐車場の草刈り、ゴミ拾い作業の回数		
組織名		総合戦略 課		企画政策 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 2 項 1 目 10	課題なし				令和 2年度	令和 3年度	単位
								2	2	回

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	国・県等土木施設整備促進事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	8,000 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県が実施する事業の要望活動の実施。 ・県土木事務所へ要望している事業の実現に向けて、県、町、町議との意見交換を目的とした土木行政懇談会の開催。 ・高速道路に架かる橋梁整備の事務局としての構成市町村等の調整事務等 		会議の書面開催を実施した。		事業実績		
	基本事業	01	道路整備の推進・促進					懇談会開催回数		
組織名		地域整備 課		土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 8 項 1 目 1	単年度では解決しない案件もあるため、継続して活動していくことが望まれる。		今後も継続的に、円滑に事業を進める。		令和 2年度	令和 3年度	単位
								1	1	回

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	土木工事設計積算事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,172,786 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> (財)群馬県建設技術センターからの通知を受け、積算システム更新の案内や使用機器の調査を行う。製図システム保守の取り扱いを行う。積算歩掛等の購入。 		システムを利用している各課と連携を図った。		事業実績		
	基本事業	01	道路整備の推進・促進					積算システムを利用して発注した件数		
組織名		地域整備 課		土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 8 項 1 目 1	課題はないが、道路事業を実施するためには継続する必要がある。また、CADについてはLG-WAN対応となるため、事業費が増える。		今後も事業を継続的に、円滑に進める		令和 2年度	令和 3年度	単位
								125	106	件

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	土木総務費負担事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	532,300 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 賛同、参画する各種団体に負担金を支払い、団体の活動を通じて道路網等の整備促進を図る。H29年度より事務事業を1本化した。 		要望内容の再確認。		事業実績		
	基本事業	01	道路整備の推進・促進					総会開催数(みなかみ町が主体で行う)		
組織名		地域整備 課		土木 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		
事業期間		継続事業	会計 1 款 8 項 1 目 1	継続して活動することが必要である。		引き続き活動に参加する。		令和 2年度	令和 3年度	単位
								1	1	回

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	道路愛護活動事業				① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	11,313,451 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				道路の環境美化を通じて公共福祉の増進と道路愛護意識の高揚を図るため春と秋の年2回、地区の住民による道路の清掃並びに修繕に対し支援を行う。				任意保険の加入推進を図るため、行政区への財政支援に取り組んだ。				事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保												道路清掃延長					
組織名		地域整備 課			土木 係				② 事務事業の課題				④ 今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	1	<ul style="list-style-type: none"> ・傷害保険の補償内容の見直し。 ・任意保険加入の推進を図る。 ・作業に伴う安全管理の周知を強化する。 				今後も継続的に円滑に事業を進める。				令和 2年度	令和 3年度	単位
										369	379	km								

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	道路維持管理事業				① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	59,645,854 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				パトロールにより危険箇所の情報収集に努め、道路の欠陥・破損箇所を早期に見つけ補修し、町民生活に影響を与えぬよう道路を常に良好な状態に保つよう維持・補修を行う。				直営や委託による道路の補修を実施した。				事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保												修繕作業委託箇所数					
組織名		地域整備 課			土木 係				② 事務事業の課題				④ 今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	2	道路パトロールを強化して、町内の状況を把握し、早期に対応する。・業者等の施工方法や区長、近隣の住民と連携して補修にあたる。				公共土木施設の維持管理は必要不可欠であり、今後も継続的に円滑に事業を進める。				令和 2年度	令和 3年度	単位
										47	52	箇所								

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	三峰トンネル維持管理費負担事業				① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	18,094,812 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				望郷ライン三峰トンネルの維持管理について、事務を沼田市に委託し、延長割りで負担金を支払うもの。				2市町にまたがるトンネルのため、沼田市との経費負担の調整に取り組んできた。				事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保												トンネルの長さ					
組織名		地域整備 課			土木 係				② 事務事業の課題				④ 今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	2	電気代等の通常の維持管理経費に加え、様々な機器の更新費用が嵩む。				適正な維持管理に資するよう、沼田市と緊密な連携を図っていく。				令和 2年度	令和 3年度	単位
										1605	1605	m								

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000006	道路ストック総点検・老朽化対策事業				① 事務事業の内容				③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果				事業費	121,267,669 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				全国各地で起きているトンネル内コンクリートの剥落や道路のり面上方からの事故が起こらないように適切に維持管理する事を目的とする。各種道路構造物を点検し、危険箇所について補修工事などの対策をとる。				法面や舗装の補修工事の実施。				事業実績					
	基本事業	02	道路の安全性の確保												点検箇所数・補修設計数・補修工事数					
組織名		地域整備 課			土木 係				② 事務事業の課題				④ 今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	2	定期的な維持管理が必要				管理施設数が多いため、定期的に維持管理を行う。				令和 2年度	令和 3年度	単位
										0・0・6	0・0・9	m								

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	単独道路改良事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	37,232,302 円	
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			補助事業に該当しない小規模道路改良工事に伴う不動産鑑定評価業務、土地等売買契約、分筆・所有移転登記等工事等に向けての準備作業及び工事業務を行う。			道路用地の寄付等により、道路改良工事の実施。			事業実績	
	基本事業	02	道路の安全性の確保									当年度実施済道路延長	
					② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策			令和 2年度	令和 3年度	単位
組織名		地域整備 課			土木 係			事業費の確保が必要となる。			253.8	361.5	m
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	3			

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	町道真政線整備事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	170,277,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			県道沼田水上線、政所信号～東側大沢田出水線を結ぶ新設道路			道路工事および踏切移設の協議			事業実績		
	基本事業	01	道路整備の推進・促進									町道真政線に係る踏切開通		
					② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策			令和 2年度	令和 3年度	単位	
組織名		地域整備 課			土木 係			JRD東日本に踏切の移設工事を実施していただくために、継続的な協議が必要である。			踏切の移設	—	踏切設置完了	—
事業期間	期間限定事業		会計	1	款	8	項	2	目	3				

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000019	町道後閑師線道路改良事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	22,336,460 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			町道後閑師線狭小区間の拡幅改良事業			道路改良工事の実施。			事業実績		
	基本事業	02	道路の安全性の確保									当年度実施済延長		
					② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策			令和 2年度	令和 3年度	単位	
組織名		地域整備 課			土木 係			事業開始から完了まで6力年要する。前後の未改良区間の検討			当初計画区間の約L=500mが完了となり、交通量が増加したため、前後区間についても改良の検討を行う。	180	160	m
事業期間	期間限定事業		会計	1	款	8	項	2	目	3				

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000024	町道浅地工貫線道路改良事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	11,052,185 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			浅地工貫線の道路側溝整備を含めた道路改良を行う。			本年度は民有保安林の木の根が影響のない箇所の施工を実施した。伐採手続きを進め、地権者同意を確認し、群馬県利根沼田環境森林事務所と協議の上、立木伐採届出が受理された。			事業実績		
	基本事業	02	道路の安全性の確保									排水路整備延長・舗装改良延長		
					② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策			令和 2年度	令和 3年度	単位	
組織名		地域整備 課			土木 係			道路改良を行う隣接地には、民有保安林があり、杉の木の根が道路改良の支障になる可能性がある。			支障となる民有保安林内の木の伐採における地権者同意を確認し、群馬県利根沼田環境森林事務所と協議の上、立木伐採届出が受理され、道路改良工事が施工出来るようになった。	207.5・0.0	0.0・246.7	m
事業期間	期間限定事業		会計	1	款	8	項	2	目	3				

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000010	町道関口大原線道路改良事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	19,473,820 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		町道関口大原線と国道17号の交差点、前後約300mの道路線形改良を行う。	国交省との協議を重ねている。また、他の機関との協議準備をしている。	事業実績			
	基本事業	01	道路整備の推進・促進				当年度実施済延長			
組織名		地域整備 課		土木 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	期間限定事業	会計	1 款	8 項	2 目	3	国土交通省等との協議による成果修正。		各種協議を整える。また、地権者からの了解を得て、工事を実施する。	
							令和 2年度	令和 3年度	単位	
							0	0	m	

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000011	橋梁長寿命化事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	283,598,611 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		既設管理橋梁の定期点検を行い、結果を基に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、必要な補修及び修繕工事を行い長寿命化を図る。	優先順位を考慮し補修し実施した。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保				橋梁点検数・橋梁補修設計数・橋梁補修工事数			
組織名		地域整備 課		土木 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	4	長寿命化修繕計画の策定により多額の修繕費用の確保が必要となるが、修繕を怠ると劣化から橋梁が通行不能となるため、新規道路や道路改良以上に優先的な予算投入が必要。		計画的に修繕は出来たが、補修する橋が多いことから費用の確保が必要。	
							令和 2年度	令和 3年度	単位	
							78・0・4	121・0・1	橋	

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	道路台帳管理事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,058,541 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		道路台帳統合電子化し町道の新設及び改良等による道路台帳等更新及び地理情報システムの保守管理。	関係各課に地図情報の更新に必要な情報提供依頼・連絡を密に行っている。定期的にGIS利用促進に係る情報提供や研修を実施している。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保				新設、改良路線数・廃止路線数			
組織名		地域整備 課		用地・管理 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	1	道路台帳等の変更に係る更新に漏れがないよう注意する必要がある。地図関係事務の合理化を推進するため、職員に対し継続してシステム利用促進を図る。		常に新しく正確な情報が閲覧できる状態を継続できるよう周知や研修を徹底していく。また、住民向けに公開するGISシステムの拡充を図る。	
							令和 2年度	令和 3年度	単位	
							0	46	0	

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	道路内民地未処理案件解決事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,084,770 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		町道の敷地内にある個人名義の土地について、公共用地として取得し管理を適正に行えるようにする。	地権者の要望にはできる限り早く対応できるように関係職員と連携を図っていく。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保				道路内民地を町名義に登録した件数			
組織名		地域整備 課		用地・管理 係		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	1	様々な理由で道路内民地が発生しており過去の経緯が不明な場合、事務処理に時間を要することが多い		道路内民地の所有者から寄付の申出があった場合、速やかに対応する。	
							令和 2年度	令和 3年度	単位	
							3	6	件	

令和 4 年 7 月 15 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000012	狭あい道路拡幅整備事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	32,783,340 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			・町道野田原箕輪線(L=560.0m)路線測量業務 ・用地買収 ・物件補償 ・道路拡幅工事		交付金事業について、令和6年度まで事業期間が更新されたことにより、継続中の町道野田原箕輪線 道路拡幅工事が実施することが出来た。		事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保							狭あい道路事業延長			
組織名		地域整備 課		用地・管理 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	5 目	1	H31年度で交付金事業が終了したため、今後の路線要望への対応が課題となる		継続中の町道野田原箕輪線 道路拡幅工事が令和3年度に完了したので、町内で道路幅員が4メートル未満の路線において道路拡幅事業を進めていく。令和4年度からは、町道月夜野71号線 道路拡幅事業を進めていく。		110.6	243.5	m

令和 4 年 7 月 12 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000009	都市計画見直し検討事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	396,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			都市計画道路9路線(延長14,962m)の内、未整備の4路線(延長3,552m)を廃止する。公共下水道区域及び都市計画税と併せて見直しを行う。		都市計画法に基づき手続きを行い、未整備の都市計画道路4路線(上河原笹柙線・水上駅湯原線・湯原鹿野沢線・水上駅鹿野沢線)について、令和4年1月25日に全線を廃止した。		事業実績			
	基本事業	01	道路整備の推進・促進							廃止4路線の延長			
組織名		地域整備 課		都市計画 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	期間限定事業	会計	1 款	8 項	4 目	1	都市計画決定時からの時代のすう勢により、未整備となっている都市計画道路のあり方を見直す必要がある。		必要に応じて都市計画の見直しを行う。		3,552	3,552	m

令和 4 年 7 月 12 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	町道悪戸矢瀬線整備事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	283,235,605 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			町道悪戸矢瀬線の未整備区間の道路整備(L=380m) 利根商野球場の道路防護網の設置(1基)		町道悪戸矢瀬線は、令和4年4月1日に本線開通となりました。道路防護網は、令和4年3月25日に建築確認検査済証が交付され、設置工事は令和3年度末に完了した。		事業実績			
	基本事業	01	道路整備の推進・促進							道路整備延長			
組織名		地域整備 課		都市計画 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	期間限定事業	会計	1 款	8 項	4 目	2	令和4年4月1日のみなかみ中学校開校までに工事を完了させる予定であるが、工期が厳しい状況にある。		町道悪戸矢瀬線に接続する取付道路や周辺整備の残工事については、繰越により次年度に実施する。		-	380	m

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	道路除排雪事業				① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	230,597,603 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			道路に降った雪の除排雪を行い町民や来町者等道路利用者が安全で安心して通行できる道路を提供するため、除雪作業方法の選択や契約・現場管理に関する事務、及び破損箇所の修繕業務		直営の道路バトロールを組織し、消融雪施設の電源管理を行い節電に努めた。直営による道路バトロール要員と除雪オペレーターは確保した。大雪により除雪出勤が50パーセント増加し、除雪経費は約50パーセント増大した。		事業実績			
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保							臨時職員の作業日数 ・除雪委託業者数 ・地域支援除雪団体			
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 2年度	令和 3年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	8 項	2 目	5	除雪経費削減。 直営オペレーターの確保		課題なし		87・14・5	90・14・5	日・者・区

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	除雪機・除雪車等維持管理事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	33,363,500 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		町が所有する除雪作業用重機・車両等の維持管理事業	除雪機械の年式が一番古いものは昭和61年車である。年式が古い車両は、車検・一年点検で不具合が確認され、修繕費が高額となっている。	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保				保有台数・借上機械数					
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	5	令和 2年度	令和 3年度	単位
										43・0	43・0	台
										課題なし		

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	消融雪施設維持管理事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	132,297,676 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		消雪・消融施設の維持管理業務。【燃料・電気料、修繕・工事、施設及び電気設備管理委託、消雪施設電気料県負担金】	直営の道路パトロールを組織し、消融雪施設の電源管理を行い節電に努めた。施設の燃料や電気料が値上がりし、経費が増加した。施設の老朽化等により、17カ所で維持工事を実施した。	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保				散水施設箇所数・無散水施設箇所数					
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	5	令和 2年度	令和 3年度	単位
										16・26	16・26	箇所
										課題なし		

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	除雪機・除雪車等整備事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	26,143,260 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		除雪作業用重機・車両等の購入事業	計画的な買い替えとして、除雪機械を2台購入し、2台を廃車した。	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保				購入機械台数					
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	5	令和 2年度	令和 3年度	単位
										2	2	台
										課題なし		

令和 4 年 7 月 12 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000008	気象観測システム管理事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	7,547,319 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保		14地点の観測所から気象情報を収集し、関係部署と共有、HPで一般公開している。観測装置とネットワークの維持管理及び機器のメンテナンスを毎年実施している。	不具合の解消について業者及び開発元と協議を行った。	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保				年平均月間利用者数					
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	5	令和 2年度	令和 3年度	単位
										49,353	54,375	人
										後継機カメラの仕様変更により、2地点(大芦・布施)で遠隔操作ができない不具合が発生している。カメラ交換となっても、不具合が出ないよう整備を進める。		

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005		除雪情報システム管理事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,988,328 円							
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				除雪車の運行管理システムを活用し現在地及び除雪経路等の確認、交通渋滞情報の提供等HPにて公開する。また、除雪費などの集計も行える。	令和3年度は大雪となったが、運行システムは機能していた。 システムのカスタマイズは実施しなかった。	事業実績								
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保						除雪延長(監視延長)								
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係			② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策									
事業期間		継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	5	災害時の活用方法の確立、及びシステムのカスタマイズ費用が課題			課題なし	令和 2年度	令和 3年度	単位
											360	360	km				

令和 年 月 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007		消雪施設改修事業				① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	47,169,000 円							
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				老朽化が進む散水式消雪施設の計画的な更新。	1路線の改修工事を実施した。	事業実績								
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保						改修工事の延長/ 既存散水式消雪施設の延長								
組織名		地域整備 課		除雪センター業務 係			② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策									
事業期間		継続事業	会計	1	款	8	項	2	目	5	散水式消雪施設は昭和50年代より随時整備を行ってきたが、老朽化が進み、保守点検等実施しておりますが、散水の効率が低下している。			施設の老朽化により、修繕や補修工事が必要となるため、計画的な改修(更新)工事を実施する。	令和 2年度	令和 3年度	単位
											0/4461	505/4461	m				